

ほの光る 夜明け



Presented by
1=1ziz



TOKYO REVENGERS #5
UNOFFICIAL FANBOOK

九井一



乾青宗



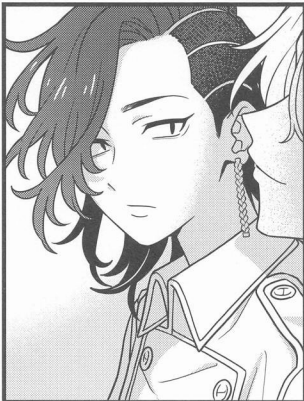




オレはこの瞬間が
好きだ

羽が生えたみたいなの
気分になって

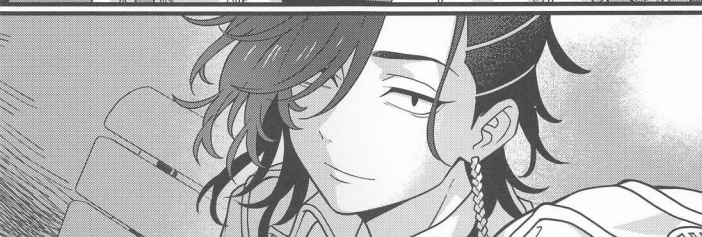
この瞬間が
いつまでも続くと
錯覚してしまう



なんだよ急に
嬉しそうな顔して
ワケわかんねーの…



なんか…
まだ走り足りねえな





ココは今日
食ってるだけだろ
ケンカ後ろで
見てただけじゃん

はは、
そーだっけ

そしていつも
舞い上がれずに
落とされる

ココがこの行為に
走る時は

本当は泣き崩れた
時だということを
知っている

そんなオマエのことを
見られなくて

オレはいつも
何も言えずに
流されてしまう

女じゃねえし…

好きじゃ
ねえ…!!

なんで？
好きでしょ…

こうなるともう
ココの目には
“オレ”は映っていない

ココと繋がるのが
気持ちよくて

期待してしまう
自分もいる

あ、

ああっ

いいっ…

そこ…

うおっ

はは

ザッ
グン

いい…

すげー
たまんなさそう

もうイキそう
なの？

ゆさ
ゆさ

うん…

きもちい

きもちい…

本当にバカだ
オレも
オマエも

イキ顔見たい

見して？

！

グッ

グッ
グッ

グッ

グッ



ああ
あ…

ああっ
ヤバッ
コッ…

ほら
イッていいよ

ヤバイと…
当たってっ…

いいからイけよ

オラ!

最っ高!

あゝ締まる

ああもう
何やってんだオレは

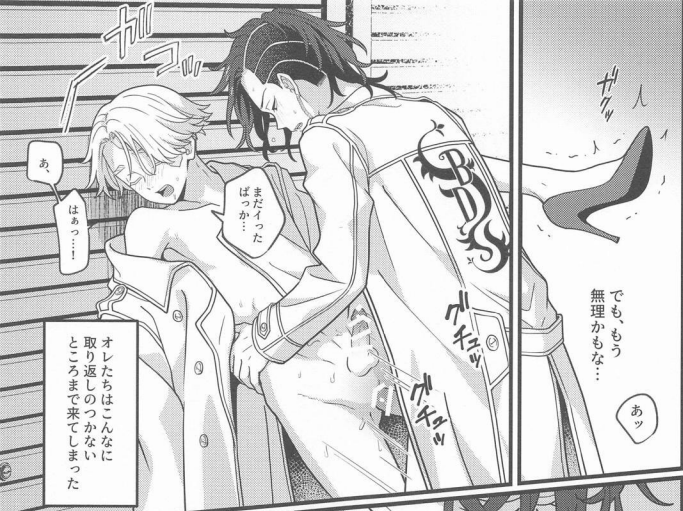


まだ足んねえ



全てのしがらみを取っ払って

オマエと
やり直したいのに
全部全部 最初から…







オレは苦しく
なんかねえよ

コ、
ココ……

かー

なんなんだよ
煩わしい

じゃあ
後ろ向けよ、
はやく

ガッ
ッ
ッ

ガッ

ココ……

そんな顔で
そんな声で

何度もオレを
呼ぶんじゃないよ

す……

ガッ
あッ
ココッ

あッ

はあ、
はあ……！

苦しいのは
オマエの方だろうが
イスビ

オレはオマエを
こんなに傷つけて
いるのに、

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

は

ズググッ

は

ズググッ

そんなことを
されたらオレは

自分の中の「何か」に
気づいてしまいそう
になる

コイツはただの
身代わりで

失った大切なものの
埋め合わせなのに

それなのに
胸の奥が痛くて
たまらない

もっとその目で
見てほしいような

もうわからない

はあっ

やばっ…

は

あっ



オマエをもっと
傷つけてしまいたいような



コ...

イスビー

!

オマエ自身が
愛おしいような





ああもうわからない
この胸の痛みが何なのか



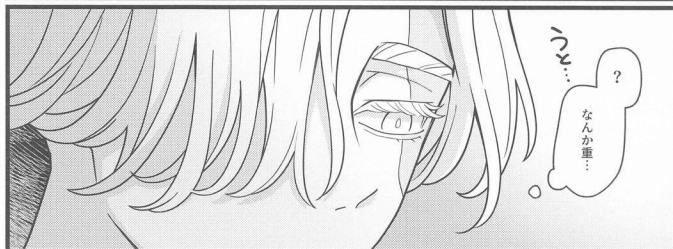
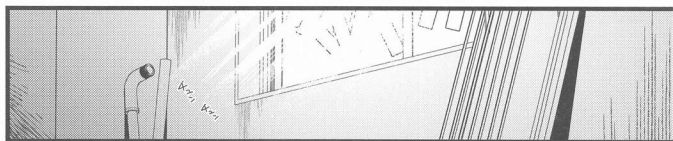
わからないから

わからなくていい

知ってしまったら

本当に大切な人を
もう思い出せなくなる
気がするから









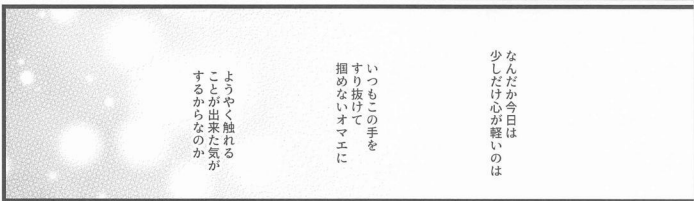
こんなに穏やかに眠る
コイツをもう随分と
見ていなかった気がする



なんだか今日は
少しだけ心が軽いのは

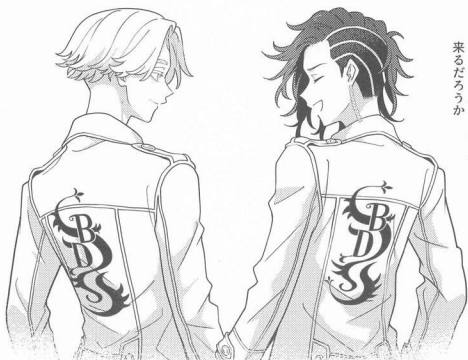
いつもこの手を
すり抜けて
掴めないオマエに

ようやく触れる
ことが出来た気が
するからなのか



なあココ

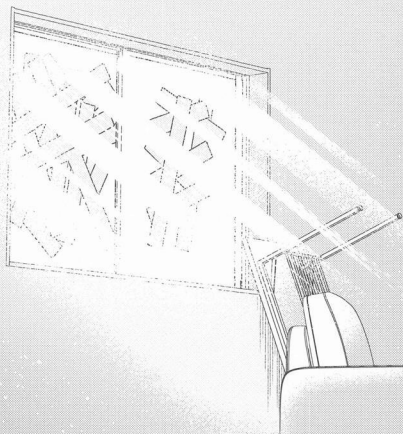
また子供の頃みたいに
オマエと心から笑い合える日が
来るだろうか



なんのしがらみもない世界で
オマエと過ごせる日々が
来るだろうか



オレはまだ
信じてみても
いいだろうか



夜の光る 夜明け

発行者	蔵八
発行日	2023年10月15日
印刷所	サングループ様

Presented by **1=1ziz**

X(Twitter)…@kura8_abo

pixiv…2093378

転売、転載、複製、インターネット上へのアップロードは禁止です。

TOKYO REVENGERS #5
UNOFFICIAL FANBOOK

九井一



乾青宗

Presented by

1=1ziz